

埼玉の造り手

Vol. 42

(株) URAWA・
BEER・PROJECT
(U.B.P BREWERY)



浦和レッズを愛するあまり浦和区へ移住した創業者

浦和駅西口から徒歩3分というアクセスの良い場所にある「U.B.P BREWERY」。浦和レッズとビールを心から愛する小林社長が開業した。サポーターとして世界中を飛び回っていた小林社長は、遠征する人々でビールを飲み歩くうちに、個性豊かで奥深いクラフトビールの世界を知った。訪れた現地のパブで、地元のブルワリーでつくられたビールを片手に、試合観戦に興じる人々の楽しそうな光景を目にして、自分が醸したビールとサッカーを一緒に楽しめる空間をつくりたいと創業を決意したという。

2015年に脱サラした小林社長は、全国からクラフトビールを仕入れて提供する専門店を手始めに開業した。開業当初は苦労したもので順調に売り上げを伸ばし、2店舗を経営するまでに成長。創業から7年、クラフトビール専門店のオーナーとして着々と地盤を固め、とうとう目標であった自分が醸す、醸造所を併設した3店舗目を2022年にオープンした。



株式会社 URAWA・BEER・PROJECT

(U.B.P BREWERY)

<https://www.upbrewery.jp>

さいたま市浦和区高砂2-1-19 Tel 048-674-4685

代表者 小林 健太 氏

創業 2014年 従業員 16名

事業内容 クラフトビールの製造・販売

購入方法 直売店(平日17:00~22:00、土曜日13:00~22:00、日曜日13:00~19:00、火曜定休日)、直営姉妹店、近隣飲食店ほか

※オンラインショップ <https://hbeer.stores.jp>



地元企業とコラボしたビールも醸して
いる。2023年7月にはJRからの依頼を受けて浦和駅開業140周年を記念したビールを醸造した。今年もJRとのコラボ計画が進んでいるそう

サッカーの街「浦和」に根付いたお店にする!

現在、定番メニューとして提供している「ララ ケルシュ」は、のどごし爽快感を感じられる。飲みやすく、最初の一一杯目にぜひ試してほしい。「彩白～IROHA～」は、埼玉県ならではの素材を使った白ビールで、さいたま市産の大麦を原材料に加えたり、富士見市産のグレープフルーツや行田市産のビール麦など、その都度、旬の県産品を使ってつくるベルジャン・ウイートシリーズである。全国大会「Japan Brewers Cup 2024」の小麦ビール部門で6位入賞と高い評価を得た。そのほか、全国のつくり手とコラボしたオンラインのビールなど、今まで80種類を超えるビールを誕生させてきたが、一方でビール大国ドイツが制定している副原料を一切入れない「ビール純粋令」を忠実に守った基本のビールも醸している。

浦和レッズがアウェー戦の日は、遠征先のお店のタップを借りて自社ビールを販売し、ホーム戦の時には逆に相手地域のブルワリーのビールを自身のお店で提供することがある。小林社長の幅広い人脈があるからできる面白い取り組み。「もっと多くの人にうちのビールを味わえる機会が増えればうれしい」と小林社長は語る。



缶ビールは数量限定で販売中、
自宅でもお店の味を楽しめる

● 読者プレゼント実施中!

U.B.P BREWERYの「お楽しみ500ml 6缶セット」を1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、U.B.P BREWERYのビール希望」を記載の上、sodan@saitama-j.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの専用QRコードから、3月24日(月)までに、ご応募ください。当選者の発表および当選商品は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

